様式第２（第七条関係）

廃棄物埋設確認申請書（廃棄体用）

年　　月　　日

原子力規制委員会　殿

住所

氏名（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）　印

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第51条の６第２項の規定により廃棄物埋設に関する確認を次のとおり申請します。

<table>
<tr><td rowspan="2">事　業　所</td><td>名　　称</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">廃　棄　体　の　数　量</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">放射性廃棄物の発生場所、種類及び容器に封入し、又は容器に固型化した方法（注１）</td><td>整理番号（注２）</td><td>放射性廃棄物の発生場所</td><td>放射性廃棄物の種類</td><td colspan="2">容器に封入し、又は容器に固型化した方法</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">廃棄体の重量、廃棄体に含まれる放射性物質の種類ごとの放射能量及び放射能濃度</td><td>整理番号（注２）</td><td>重　　量（注３）</td><td>廃棄体に含まれる放射性物質の種類ごとの放射能量（注４）</td><td colspan="2">廃棄体に含まれる放射性物質の種類ごとの放射能濃度（注５）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">廃棄体の表面の放射性物質の密度及び廃棄体の耐荷重強度</td><td>整理番号（注２）</td><td colspan="2">表面の放射性物質の密度（注６）</td><td colspan="2">耐荷重強度</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">廃棄体の健全性を損なうおそれのある物質及び著しい破損の有無並びに廃棄体に付ける標識（注７）</td><td>整理番号（注２）</td><td>廃棄体の健全性を損なうおそれのある物質の有無</td><td>著しい破損の有無</td><td colspan="2">放射性廃棄物を示す標識</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">標識及び整理番号の表示方法</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">埋設しようとする年月日</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">確認を受けようとする場所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">確認を受けようとする年月日</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

注１　放射性廃棄物の発生場所、放射性廃棄物の種類及び容器に封入し、又は容器に固型化した方法が共通の廃棄体についてはまとめて記載すること。

２　廃棄体のそれぞれにつき記載すること。

３　キログラム単位で記載すること。

４　ベクレル単位（有効数字２桁）で記載すること。

５　ベクレル毎トン単位（有効数字２桁）で記載すること。

６　ベクレル毎平方センチメートル単位（有効数字２桁）で記載すること。

７　廃棄体の健全性を損なうおそれのある物質の有無、著しい破損の有無及び放射性廃棄物を示す標識が共通の廃棄体についてはまとめて記載すること。

備考１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

２　氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。